

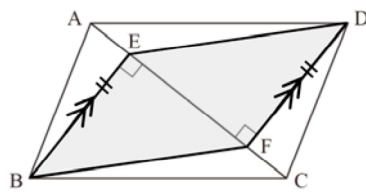
ライブ授業

1

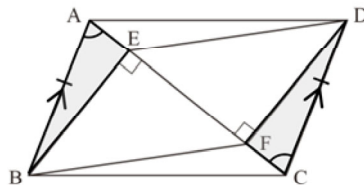
**解答**  $\triangle ABE$  と  $\triangle CDF$  において、  
 仮定より、 $\angle AEB = \angle CFD = 90^\circ$  …①  
 平行四辺形  $ABCD$  の対辺だから、 $AB = CD$  …②  
 また、 $AB \parallel DC$  より、錯角は等しいから、  
 $\angle BAE = \angle DCF$  …③  
 ①、②、③より、直角三角形の斜辺と1つの鋭角がそれぞれ等しいから、 $\triangle ABE \equiv \triangle CDF$   
 合同な三角形の対応する辺の長さは等しいから、  
 $BE = DF$  …④  
 $\angle BEF = \angle DFE = 90^\circ$  より、錯角が等しいから、  
 $BE \parallel DF$  …⑤  
 ④、⑤より、  
 1組の対辺が平行でその長さが等しいので、四角形  $EBFD$  は平行四辺形である。

**解説** 1組の対辺

が平行でその長さが等しいければ、四角形  $EBFD$  は平行四辺形だから、まず、辺  $BE$  と辺  $DF$  をふくむ  $\triangle ABE$  と  $\triangle CDF$  が合同であることを証明する。



仮定より、 $\triangle ABE$  と  $\triangle CDF$  は、 $\angle AEB = \angle CFD = 90^\circ$  の直角三角形だから、直角三角形の合同条件に着目する。  
 平行四辺形  $ABCD$  の対辺だから、 $AB = CD$  より「斜辺」は等しい。  
 また、 $AB \parallel DC$  より、錯角は等しいから、「1つの鋭角」は等しい。

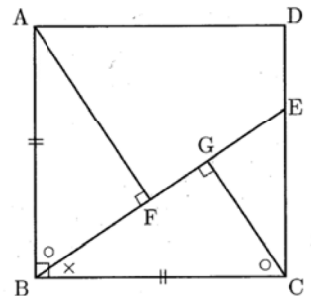


2

**解答**  $\triangle ABF$  と  $\triangle BCG$  において、  
 $\angle AFB = \angle BGC = 90^\circ$  …①  
 四角形  $ABCD$  は正方形だから、 $AB = BC$  …②  
 また、 $\angle ABF = 90^\circ - \angle CBG$  …③  
 $\angle BCG = 90^\circ - \angle CBG$  …④  
 ③、④より、 $\angle ABF = \angle BCG$  …⑤  
 ①、②、⑤より、直角三角形の斜辺と1つの鋭角がそれぞれ等しいから、 $\triangle ABF \equiv \triangle BCG$

**解説** 仮定より、 $\triangle ABF$  と  $\triangle BCG$  は

$\angle AFB = \angle BGC = 90^\circ$  の直角三角形だから、直角三角形の合同条件に着目する。  
 正方形の4つの辺は等しいから、 $AB = BC$  より「斜辺」は等しい。



また、直角三角形では直角以外の2つの内角の和は  $90^\circ$  であること、正方形の内角は  $90^\circ$  であることに着目して、「1つの鋭角」が等しくなることを示す。

※このページは白紙ページです。